

<座長> 大石 亜希子 (千葉大学)

- 1) 日本の配偶者サーチの伝統と変化永瀬 伸子 (お茶の水女子大学)
- 2) 労働市場における格差と結婚による階層選別—東アジア諸国における実証分析—
.....佐々木 昇一 (神戸大学)
- 3) 一般用マイクロデータ就業構造基本調査版の概要伊原 一 (統計センター)
田中 雅行 (総務省統計局)
北林 三就 (統計センター)

F-2 経済

<座長> 渡辺 真知子 (明海大学)

- 1) 日本の人口政策の人口経済学的分析大塚 友美 (日本大学)
- 2) 年齢分布と金融政策の有効性小黒 曜子 (明海大学)
- 3) 年齢構成と貿易開放度に関する地域別分析衣笠 智子 (神戸大学)
福本 幸男 (大阪経済大学)
- 4) 仮説検定による組み合わせ分析法—修正ウィーバー法との比較研究—
.....井上 希 (青山学院大学)
(鈴木 透 記)

ヨーロッパ人口学会2018年大会

2018年ヨーロッパ人口学会大会 (European Population Conference 2018) が2018年6月6日～9日にかけてベルギーの首都ブリュッセルで開催された。ヨーロッパ人口学会 (European Association for Population Studies) は1983年に設立された学際的な国際学会であり、なかでもヨーロッパにおける人口問題について精力的に研究活動を行っているものである。ヨーロッパ人口学会は2年毎に大会を開催しており、本大会はオーストリアのウィーン (2010)、スウェーデンのストックホルム (2012)、ハンガリーのブダペスト (2014)、ドイツのマインツ (2016) に続いて開催されたものである。本大会では「人口、多様性と不公平 (Population, Diversity & Inequality)」の解明が共通の主眼とされた。

大会はオープニングセッションにおける2つの基調報告に始まり、会期中の3日間で14に大別された多岐にわたる各テーマ (「出生力」、「性・再生産行動」、「家族と世帯」、「ライフコース」、「高齢化と世代間関係」、「国内人口移動と都市化」、「国際人口移動と移民人口」、「健康、幸福と不健康」、「死亡と寿命」、「歴史人口」、「人口データ及び手法」、「経済、人的資本と労働市場」、「人口政策」、「開発と環境、空間」) について、合計121のセッション (約570の口頭報告) と約150のポスター報告が行われた。また、8日には2名の2016年ヨーロッパ人口学会賞受賞者による特別講演があり、いずれにおいても活発な研究交流が行われた。

当研究所からは福田節也 (企画部室長) と菅桂太 (人口構造研究部室長) が参加し、それぞれ研究報告を行った。 (菅 桂太 記)

韓国人口学会 (PAK) 参加報告

6月8日に韓国ソウル国立大学にて韓国人口学会の年次大会 (第1回) が開催され、同学会からの